

## 商店街の

## 活性化を目指して!!

## ACTIVE KUMIAI

甲府中心商店街の活性化を目指して、この6月に甲府城南商店街振興組合(奥石陽理事長)が設立された。

本組合の母体となっているオリオン通り商店街は、数年前から甲府の中心商店街の活性化と県内最強の専門店ゾーンを目指して、商店街の様々な整備事業などの模索・検討を行ってきた。

商店街は昭和23年に検事正宿舍跡に建設され、当時、町内にあつた戦後復興の象徴ともいえる映画館「オリオンパレス」にちなんで名付けられた。以降高度成長時代の中、来街客の利便性を高めるために昭和31年にヨシズ張りのアーケードを設置、その後、現在の鉄骨アーケードに建て替えられ現在に至るまで多くの来街客に親しまれてきた。

しかしながら、時代の変化とともに郊外型商業集積の時代となり、消費者行動は中心市街地での買物から郊外型大型店での買物へとシフト、甲府市中心部も衰退に歯止めがかからず、抜本的な対策を講ずることが求められてきた。

甲府中心市街地の活性化が模索される中で、平成19年には、甲府紅梅地区再開発組合が設立され、当該商店街に立地する大型店「パセオ」と隣接する県営駐車場を一体化する再開発事業が現実のものとなった。この事業は、甲府市中心市街地の衰退に歯止めをかけ、活性化へ導く重要な事業とされている。

これを機に、より強力に商店街活動を推進するため、旧アーケードを解体し、新たな「オリオン・スクエア」整備事業に着手。近接商業者とともに連携しながら、新たな戦略、効果的な事業活動を展開していくことにより、甲府中心市街地の活性化、更には、地域全体の商業の発展と、専門店ゾーンとしての魅力創出の実現を目指し今回の組合設立となった。



オリオン・スクエア完成予想図



現在のオリオン通り商店街